

校長室より

令和 2年8月27日
校長 植野 博之

2学期スタート！

8月も終盤を迎えました。まだまだ熱中症になりそうなレベルな酷暑の日々が続きますが、児童生徒達は、体調を大きく崩すことなく、元気に日々過ごしております。子ども達からも「夏休みが短か〜い」という声は、ありましたが、8月17日（月）に2学期の始業式を行いました。体育館も大変な暑さであったため、急遽、各クラスでズームを使い、始業式を行いました。新しい生活スタイルの中、ズームに慣れていた子ども達は各学年、クラス毎に落ち着いて始業式を受けました。



一学部病棟入院の生徒達も各病棟で、病棟行事等もありました。今年は病棟も3密を控えると共に、保護者もいつものように参観できないなどさびしさもありましたが、病棟の療育指導室の皆さんの熱意ある取組に、子ども達の気持ちも温かくなったことでしょう。先生達も今年はコロナの関係で、例年以上に活動に制限がある中で、子ども達一人一人のできること、感じることを一緒に共感し、感動しています。病棟では、ベットサイドからはじめて車いすに乗れた生徒もいて、これからますます世界が大きく広がりますね。

二学部通学生も、猛暑の中ですが、元気に登校しています。2学期には、校外学習に修学旅行、文化祭など行事もあります。例年に比べて、気をつけねばならぬことも多いですが、制約の中でも一歩、一歩子ども達は楽しみを見つけ、前向きに取り組んでいる姿が見られます。

新入生達もお互いに関係性が深まる中で、休み時間に打ち解け合っカードゲームなど楽しい時間を過ごしてる姿も見られます。

先日、24時間テレビでも「動く」がテーマに放送されましたが、この先の見えない不安な時だからこそ、まじめにコツコツと何かできることにチャレンジしたり、気をつけながらも活動することの大切さを感じます。

新型コロナ対策の物品が続々入ってきています！

大型サーモグラフィカメラ



空気清浄機



サーキュレーター



スポットクーラー



和歌山でも新型コロナの感染は、まだまだ注意が必要ですが、学校としてもできる限りのコロナ対策をとっていきます。手洗い、消毒、換気、マスクの着用等はもちろんですが、8月には、玄関前に体温を感知できる大型サーモグラフィカメラを設置しました。また各クラスに最新の空気清浄機とサーキュレーターを設置し、空気を浄化し、涼しい風を送っています。また体育館には、熱中症対策も兼ねて、大型のスポットクーラーを数台置き、環境面からも対策をとっていきます。

時期的には、感染症対策と共に、熱中症対策も気をつけねばなりません。

この新型コロナウィルスは、どんなに気をつけても誰もが感染する可能性はあると思います。その時に大切なことは感染を広げないことももちろんですが、感染した人が誹謗などでつらい気持ちにならないようお互い思いやることを何より大切にしたいです。

キワニス賞受賞おめでとう！ 中学部1年 友宗 然君

昨年度、総合的な学習の時間に、和歌山県美浜町の「おいぼいそ」の生態系を観察し、パンフレット「おいぼいその生き物たちに会いに行こう」を作成し、和歌山ふるさと大賞を受賞した友宗然君が、今年度、環境保全に寄与した個人や団体に贈られる第26回和歌山「キワニス賞」を受賞しました。

8月25日（火）ホテルアバロームの大広間で、授賞式が行われ、友宗君はおいぼいそとその生態系の紹介プレゼンを大勢の人たちの前で堂々と落ち着いて報告し、大きな拍手を受けました。

演台で報告している姿や、和歌山テレビや各新聞社の取材にも、冷静に回答している姿はたくましさを感じました。

県立自然博物館にも、夏休み期間、パンフレット「おいぼいその生き物たちに会いに行こう」を50部置いていただのですが、あっという間になくなるほど好評だったそうです。また昆虫や菌の研究もしたいとのことで、今後の活躍にも期待します。

キワニス会長より受賞 集 合 写 真 演台での発表

